



上石小だより

～ やさしさ かしこさ たくましさ ～

第 9 号
令和 5 年 1 月 1 0 日
練馬区立上石神井小学校
校長 片山 順也

コミュニケーションを図りながら生きる

校長 片山 順也

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年も上小の子供たちは、様々な場面でよさを発揮し大きく成長することができた一年となりました。子供たちがこのように成長できたのも、保護者や地域の皆様が日頃から支えてくださったお陰と心より感謝申し上げます。今年も干支である兎が飛び跳ねるがごとく、子供たちが大きく飛躍できる1年となるよう。教職員一同力を合わせてまいります。どうか今年も引き続きご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

昨年の教育活動を振り返りますと、感染症対策を講じながら対話的な活動を多く行うことができたことは、子供たちの学びに大きかったと思っております。ふだんの授業では、隣同士やグループなどで話し合いながら学習する様子が、どの学年・学級でも見られました。

また、2学期に実施した体育学習発表会や学習発表会に向けた取組においても、教師の指導だけではなく、グループの友達同士でコミュニケーションを図りながら、より良いものを目指そうという子供たちの姿勢が、各学年で見られました。このようなリアルなコミュニケーションによる対話的な学びは、学校に来て学ぶ意義の根幹であると実感しているところです。

このようにコミュニケーションを図りながら生きているのは、人間や動物だけではなく、植物もまた然りであるということ、先日、あるテレビ番組を見て知り大変驚いたことがあります。その番組によると、植物が自身の葉をアオムシに食べられてしまうと、葉からある物質を空気中に発し、周囲の植物に警告を伝えるのだそうです。すると、周囲の植物はその警告を受け取り、自身の葉に毒性のある物質をつくり、葉がアオムシに食べられないように防御するのだそうです。(NHK スペシャル・超進化論より)

これまでコミュニケーションなど図れるはずがないと思い込んでいた植物が、このような手段でコミュニケーションを図りながら生きていたことに感動するとともに、大きな衝撃を受けました。

私たち人間は、言葉という非常に有用なコミュニケーションの手段をもっています。植物たちに負けることなく、今年も、コミュニケーションの手段を十分に活用することをおして、子供たちの学びをより深めていけたらと感じているところです。

1月行事予定

10(火)	始業式	4時間授業	給食始	委員会	18(水)	B時程4時間	発育測定(2)
11(水)	4時間授業	安全指導	発育測定(6)		19(木)	避難訓練	発育測定(1)
12(木)	発育測定(4)				23(月)	5時間授業	馬頭琴公演(2)
13(金)	発育測定(5)				25(水)	校内書き初め展始	
14(土)	道徳授業地区公開講座	学校公開			27(金)	読書旬間終	
16(月)	クラブ	読書旬間始			30(月)	委員会	
17(火)	発育測定(3)				31(火)	たてわり班遊び	

校内書き初め展

校内書き初め展を1月25日(水)~2月10日(金)の日程で予定しています。残念ながら、来校いただいでるの参観は難しい状況ですので、タブレットの「クラスルーム」を活用して公開いたします。子供たちの頑張りを、ぜひご覧ください。各学年で書く文字は以下の通りです。

- 1年(硬筆):「お正月に、おぞうにをたべました。からだがぼかぼかしました。」
- 2年(硬筆):「きれいなはつ日の出を見ました。新しい一年がはじまります。」
- 3年(毛筆):「友だち」
- 4年(毛筆):「明るい心」
- 5年(毛筆):「新しい風」
- 6年(毛筆):「将来の夢」



☆今年度より連合書き初め展が再開となります。各学年で選出された代表作品は区立美術館に展示されます。

道徳授業地区公開講座

1月14日(土)の授業参観は、道徳授業地区公開講座となります。これは、地域・保護者の皆様に授業や意見交換を通して道徳教育の大切さを知っていただき、子供たちが心豊かに成長するために連携していこうとする意識を共有する大切な機会です。年間指導計画に基づき、各学年で公開する授業を考えました。心身ともに健康に育てるように、特別の教科道徳の学習を通してよりよく生きるための基盤となる道徳性を養ってほしいと思います。

今年度は感染症対策として、各学年3グループに分かれての参観をお願いしています。そのため、特別の教科道徳の授業が参観できないグループもあります。ご了承ください。

昨年度同様、多くの保護者の皆様の御参加を、心よりお待ち申し上げます。

1月の生活目標

礼儀正しくしよう

年末年始は、普段よりも年長の方とお目にかかる機会が多く、礼儀正しくしたり、敬語を使って話したりできたことと思います。礼儀正しい挨拶や言葉遣い、態度は、相手を尊重する気持ちの表れであり、相手にも周囲の人々にも清々しさを感じさせるものです。さらに、自分自身にも心地よい緊張をもたらします。

今月は、家族や友達、先生に対する時の返事や受け答え・話の聞き方など、この一年を気持ちよく過ごせるように、いつもより少し心を配って礼儀正しく接して過ごしましょう。きっと、お互いがさわやかなよい気分になり、よい人間関係が築けることでしょう。今年も新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、感染予防を徹底しつつ、新しい年をよい年にするために努力していきたいものです。